県立図書館通信

令和4年８月号
（令和4年７月末発行）

県立図書館の新刊図書の中から高校生にお薦めの本を紹介します☆

『ピンク色なんか
こわくない』
伊藤　朱里/著
新潮社/発行
資料コード　116463266

私は私なんだから、どんなふうに生きてもいいはず――なのに……家という場所に、家族の繋がりに、きょうだいに、女として生きることに、なぜ、こんなにも囚われてしまっているのだろう。それぞれが心のままに選んだ自分を生きるためには、何が必要なの？〈私を生き抜く〉ための、あなたの物語。

『俺ではない炎上』
浅倉　秋成/著
双葉社/発行
資料コード　116454919

ある日突然、「女子大生殺人犯」とされた男。既に実名・写真付きでネットに素性が曝され、大炎上しているらしい。まったくの事実無根だが、誰一人として信じてくれない。会社も、友人も、家族でさえも。ほんの数時間にして日本中の人間が敵になってしまった。必死の逃亡を続けながら、男は事件の真相を探る。

『風を彩る怪物』
逸木　裕/著
祥伝社/発行
資料コード　116343039

「私たち、本当は何になりたいの？」音大受験に失敗した名波陽菜は自信を取り戻すため、姉の住む自然豊かな奥瀬を見にきていた。フルートの練習中に出会ったのは、オルガン制作者の芦原幹・朋子親子。同い年の朋子と〈パイプオルガン〉の音づくりを手伝うことに。だが、次第にオルガンに惹かれた陽菜はこのままフルートを続けるべきか迷ってしまう。

『世界が
青くなったら』
武田　綾乃/著
文藝春秋/発行
資料コード　116345893

もし朝起きたとき、大切な人が消えていたら？もしあの時、別の決断をしていたら？もしもう二度と会えないと思っていた人と会うことができたら？人生で誰もが出会う〈if〉を問いかける物語。ある朝仲内佳奈が目を覚ますと、彼氏の坂橋亮が世界から消えていた……LINE に履歴はないし、電話帳の中の番号もなくなっている。不安になって亮のマンションに行ってみるが、亮の部屋はずっと空室だという。

■編集■　佐賀県立図書館　司書ネットワーク課　図書館・司書支援担当（0952-24-2900）
◎この通信は県立図書館の HP にも掲載しています。本の検索もできます。
☞https://www.tosyo-saga.jp/

お問い合わせはこちらまで

～「弘道館２－藩校しようぜ。－」17 時間目講座を開催します～

弘道館2の17 時間目講座の講師は、世界を相手に活躍されている車いすテニスプレーヤーの大谷桃子さん！！

当日は、現地講座の様子をライブ配信します。

下記 QR コードからご覧いただけます。

テニスと人生の特別レッスン、ぜひご覧ください！

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催を中止または延期することがあります。

予告!!

12 月4日（日）に**「第4回佐賀県高等学校ビブリオバトル」**を開催予定です。
詳細は、8月以降にご案内します。
ぜひ、夏の間にたくさん本を読んで戦いに備えてください！

将来の職業について考えよう！

「大学はどの分野に進もうか……」「将来、何の仕事をしようか……」
高校生の皆さんは、日頃から将来の職業について考える機会も多いと思います。
そんな時、是非読んでいただきたい２冊を紹介します！

『業界と職種がわかる本
‘23年版』
岸　健二/編
成美堂出版/発行
資料コード　116301649

これから就職活動をする学生のために、複雑な業界や職種を 11 業種・8職種にまとめて、業界の現状、仕事内容など詳しい情報を掲載し、具体的にどのような就職活動が効果的かなどを紹介。

『16 歳の仕事塾』
堀部　伸二、山岸　慎司/著
中央経済社/発行
資料コード　116355694

就職活動を始めるときに初めて仕事について考える学生が多いが、それでは遅すぎる。本書は、高校生の時点で少しでも将来の仕事について考え、その上で進路選択することの大切さを説く。